

龍谷大学図書館長 殿

所属・職名 経済学部・教授  
氏名 田口 律男

## 2019年度 大型図書 研究成果（経過）報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

購入資料名	採択年度
日本近代文学・文化文献コレクション	2019年度
<p>1. 研究の概要について</p> <p>このコレクションは、近代日本の文学／文化を多面的に読み解くための資料群である。</p> <p>①『改造社出版関係資料』は、「円本」の成功などで知られる改造社の社主山本実彦旧蔵の資料群である。改造社発行の雑誌に寄稿した作家らの直筆原稿や、原稿料・印税の記録、広告・宣伝に関する文書、関係業者との交渉記録などが含まれている。外部からは見えにくい出版社の内部資料として、たいへん貴重である。</p> <p>②『日本浪漫派』は、1935（昭和10）年に、保田與重郎、亀井勝一郎らによって創刊された同人雑誌である。同人は、やがて50余名に達し、そのなかには、太宰治、檀一雄、中河与一、萩原朔太郎などが含まれる。急激にファッション化していく時代において、一切の政治的なものを排し、日本の美的伝統に回帰していった文学流派として、批判的に再検討されている。</p> <p>③『中央文学』は、文芸書出版の老舗である春陽堂が1917（大正6）年から刊行を始めた文芸雑誌である。新潮社の『新潮』『文章倶楽部』などの後を追うように創刊され、大正期文壇の成立期といわれる期間をカバーする雑誌として重要である。広告ページを含め完全複製しており、また表紙絵も一号を除いてすべて竹久夢二が手掛けるなど、大正期の視覚芸術を探求する上でも興味深いものがある。</p> <p>④『ホトトギス』は、正岡子規を中心に、1897（明治30）年、松山で発刊され、現在まで続く俳句誌として著名である。夏目漱石「吾輩は猫である」の初出誌としても知られ、また批評、翻訳も掲載するなど、幅広く近代文学に貢献した雑誌である。表紙絵や挿絵も竹久夢二、岸田劉生、小川芋銭らが描き、美術史上にも高い価値を有している。</p> <p>近年、日本近現代文学研究において、雑誌、出版社、編集者、検閲などのメディアの役割が重視されている。ふだんの講義など教育面でも、実物の雑誌等に触れ、ページをめくる経験を積むことは、学生にとっても有益である。</p> <p>①～④の資料群は、明治から昭和までまたがっており、同時にすべてを参照する機会は少ないが、横光利一（1898-1947）を中心に研究を進める田口にとっては、①②③は必要不可欠な資料群である。現時点では、各論文で文献を引用するさいに、初出を確認したり、同時代コンテキストを確認したりする程度にしか活用できていないが、いずれは横光利一研究をまとめるさいに、それぞれの雑誌メディアとの関係についても言及する予定である。</p> <p>また、芥川龍之介（1892-1927）を中心に研究を進める澤西においても、①③④は必須の資料であり、すでにそれらを踏まえた研究に着手している。</p>	

## 2. 購入資料の活用状況（活用予定を含む）について記入してください。

前述したように、同時にすべての購入資料を参照する機会は少ないが、それぞれの研究対象に応じて、作家・作品だけでなく、その背景にある雑誌、出版社、編集者、検閲などメディアの問題を視野に入れるために、これからも資料群を活用していく予定である。

## 3. 研究発表状況（予定を含む）について記入してください。

### ■ 田口律男

1. 「「横光利一と小林秀雄」にかんする覚書」、『横光利一研究』、2020年3月
2. 「〈書評〉佐藤義雄『文学の認知空間』」、『図書新聞』、2020年11月2日
3. 「〈書評〉小平麻衣子編『『文藝首都』——公器としての同人誌』」、『昭和文学研究』、2021年3月
4. 「〈書評〉大野晃彦『谷崎潤一郎の言語ゲーム』」、『図書新聞』、2021年10月19日
5. 「〈書評〉十重田裕一『横光利一と近代メディア』」、『横光利一研究』、2022年3月
6. 「〈書評〉謝恵貞『横光利一と台湾』」、『図書新聞』、2022年5月28日
7. 〈シンポジウム〉「植民地支配責任を問う ソフトパワーのカー文学と演劇から一」、第8回日韓国際学术会议シンポジウム、2022年2月16日

### ■ 澤西祐典

1. 「芥川龍之介の翻訳観」、『芥川龍之介研究』、2022年12月
2. 『芥川龍之介・菊池寛共訳 完全版 アリス物語』、グラフィック社、2023年2月
3. 「作家旧蔵書研究の可能性」、『近代作家旧蔵書研究会 年報』、2023年3月
4. 〈学会発表〉「芥川龍之介とベルギー」、第3回ベルギー学シンポジウム、2021年12月.
5. 〈学会発表〉「「世界文学」にアップデートされる芥川作品」、国際芥川龍之介学会、2022年2月
6. 〈学会発表〉「芥川旧蔵書越しから見る「世界文学」」、国際芥川龍之介学会、2022年9月

☆資料購入後、**1年以内**に**研究経過報告書**を提出し、また、**3年以内**に**研究成果報告書**を提出してください。  
加えて著書または学術雑誌等により**研究成果の公表または学会発表**をしてください。  
☆公表の際には、参考文献として刊行物に明記してください。